

みんなで学校運営協議会『参加者の声』

● 事業所 ● 教員 ● 学校運営協議会委員 ● 保護者

事業所 夢・自立・輝き

生徒さんの要望や先生方のご意見をどんなに取り入れていきたいと考えます。私どもの声掛けや行動が、生徒の皆さんの『夢、自立、輝きを実現する』一助となることをスタッフ間で共有のうえ、受け入れを実施していきます。

保護者 希望と輝き

好きな事と、出来る物は必ずしも一緒ではないと思います。好きな事でも出来ず、夢が無くなる現実と、出来る事で、これならと、希望の中で輝きになっていく道もあると知って、広い視野を持ってほしいです。

教員 相手の想い

人との関わりの中で学んでいく際、ただ事実を知るだけでなく、こうした『相手の想い』に気づくことが何よりも重要であると改めて実感いたしました。

保護者 参加者拡大

こんなに素晴らしい機会ですから、次回はもっと多くの保護者の方たちに参加していただきたいと思いました。

学校運営協議会委員 協議会の充実

教員のみならず、保護者や企業を巻き込んだ学校運営協議会は、内容が大変充実しており、関係者がともに学校の在り方を考える貴重な機会であったと思います。

保護者 挨拶・報連相

日頃から挨拶、報・連・相をしっかり身につけて社会に出る準備をしてきたいです。

学校運営協議会委員 目標の連携

事業の見直しと多様な主体との連携を推進することが、「夢、自立、輝き」の実現につながる。

事業所 保護者意見の共有

保護者の方の生徒さんにどのような経験を積んで、どのような成長をして欲しいか御意見を伺うことができて有意義に感じました。

保護者 失敗と成長

企業の方に、失敗はたくさんしてもいい。障害ある無しに関わらず、誰でもはじめからできる人はいない。まずは挨拶や周囲とコミュニケーションが取れるかが大切だと教えていただき、とても前向きな気持ちになりました。

事業所 悩み共有・学校の様子

企業担当として、他社さんの取組を詳しく聞く事が出来て良かったですし、少しですが悩みの共有も出来たのは良かったです。また、企業担当者様とお話のなかで、いつも来てくれる生徒が、普段の学校生活の様子が見れたら良いな…。という発言もありました。

教員 認識の共有

求めていることが微妙に違う中で、違和感や痛みも織り込みながら実施しないと認識がずれたまま終わるので、良い機会だと思う。

事業所 工夫と受け入れ

・受入れ企業の取組内容（業種により受け入れの仕方が異なる事やそれぞれ工夫している）への気づき
・仕事の切り出しに苦労していることの共有ができた。

教員 失敗と挑戦

地域で学ばせてもらう機会がたくさんあるが、それが当たり前でないと頭に入れた中で、今後も取り組みたい。また、チャレンジできる学校、失敗を受け止めて、一緒に考えてくれる学校・次に進むチャンスを与える学校で居続けることを大切にしたいと思う。

学校運営協議会委員 良好な関係

企業と学校が良好な関係を築いていることを感じました。これまでの積み重ねの中で、双方が常に生徒を主体に考え、連携を深めてくれたことがよく伝わってきました。

教員 個に応じた支援

挨拶やコミュニケーションの重要性についてお話がありました。生徒一人ひとりの実態を踏まえ、それぞれの実態に応じた挨拶やコミュニケーションの取り方を考えていく必要性を感じました。

保護者 丸ごと受け止める

まだまだ家でできることはたくさんあるなぁと考えさせられましたが、苦手なことも「丸ごと受け止める」という先生の言葉がとても刺さりました。今までは否定的にとらえていましたがそれも含めて受け入れ、得意な分野に紐付けてやる気を引き出していければと思いました。

事業所 会の評価

今回は内容の濃い会で大成功ではないでしょうか。

教員 褒めると自信

生徒たちを今以上にたくさん褒め、自信を持って社会に送り出せるような指導・支援に取り組んでいきたいと思った。

保護者 家庭での実践

ワーク地域、職場実習先とかで習った事で、家でも出来る事が有れば、家でも違って貰いたいです。

保護者 成長の実感

先生方も企業様も、子供たちのために一生懸命考えてくださっていることが、よくわかりました。一人ひとりの特性もご理解いただいた上で、受け入れてくださっている企業様にも感動しましたし、企業に向く前、企業で活動している間も担当の先生方が、企業様と連携をとり、子供たちに安心して活動できるよう橋渡しをしてくださっていることに、大変感謝しました。子供たちが3年間の活動を通して大きく成長した様子が今から目に見えるようでした。

教員 学校の特色

様々な要素を包括した中で、「愛鷹分校はどんな特色がある学校なのか、生徒にとって魅力的な学校なのか」がより見えてくるとよりよい

事業所 連携・サポート

これまで以上に、学校・地域・企業で連携をとり生徒さんが社会に出て安心できるようにサポートしていきたいと思っています。

保護者 貴重な機会

貴重な時間を、作って頂いて凄く良かったです。皆の意見や思いが聞けて凄く良かったです。

事業所 協力の広がり

もっと協力事業所が増えると、活動の幅が広がり、地域で支えていくという意識がより強くなっていくと思いました。

学校運営協議会委員 一体的推進

ワーク地域とワーク工房との一体的な推進を目指すことが大切だと、改めて思いました。

教員 Win-Win関係

今後もコミュニケーションを取りながら、ウィンウィンな関係を継続したい。

事業所 会の運営

限られた時間ですが、各事業所のインタビューの後に保護者からの質問の時間があったら良かったのかと思います。

事業所 個別の成長

生徒さん個々に目を向け、将来を見据えての成長を促す取り組みは素晴らしいと思います。

学校運営協議会委員 保護者の本音

保護者の方々の本音が聞こえてきたことが良かったと思います。

事業所 情報交換

他の事業所様との情報交換は大変参考になりました。

教員 企業側の変化

企業の方が分校の生徒に対して温かく受け入れていることを改めて感じた。また、企業側の良い変化についても聞くことができたことは新たな気づきだった。

保護者 必要な力

ワーク地域の様子や社会に出るにあたり必要な力を教えて頂き参加して良かったです。

教員 受容と行動

ディスカッションを通して、肩ひじを張らず、これまで大事にしてきていることを継続していくこと、また、日常の中でうまくいかないこともみんなで受け止めて一緒に考えていく、行動していく姿勢が大切だなと思った。

事業所 保護者参観

生徒さんが来訪した際に保護者の方にお越しいただき様子を拝見していただく機会があれば素敵だなと思いました。

保護者 意見交換

コミュニケーション能力を高める様に家でももっと積極的に意見交換していきたいです。

学校運営協議会委員 発信と周知

今後も、分校をはじめとする特別支援学校の素晴らしい取り組みを、多くの方に発信していきたいと思っています。

保護者 学べる機会

とても勉強になるので参加者が増えると良いですね。